

新大学基本構想変更の考え方

- 先端的研究の推進につなげ、スマートシティの推進や都市シンクタンク・技術インキュベーション機能として産学官連携に寄与することができる研究分野として、当初、中百舌鳥キャンパスに配置するとしていた「情報学研究科」(大学院)を森之宮キャンパスに配置変更。

・ 情報学研究科は、新大学として新たに設置する大学院研究科。人工知能やデータ分析を軸として、様々な学問領域との融合を図るとともに、情報を自在に操る情報学に関する専門家の育成をめざしている。同研究科は、今後、大阪城東部地区のまちづくりを進めていく上においても、重要な機能の1つであるスマートシティの推進や、都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能として産学官連携にも寄与していく。

- これに伴い、森之宮キャンパスの配置学部等について再検討を行った結果、生活科学部の居住及び福祉学科については、引き続き杉本キャンパスに配置する。(森之宮には栄養学科のみ配置)

キャンパス	基本構想における教育研究組織	変更案
森之宮	基幹教育 文学 リハビリ学 生活科学(栄養、居住、福祉) 都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能	基幹教育 文学 リハビリ学 生活科学(栄養) 情報学 都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能
中百舌鳥	現代システム 情報学 工学 農学	現代システム 工学 農学
杉本	社会科学 理学	社会科学 理学 生活科学(居住、福祉)

※その他のキャンパス(阿倍野、りんくう、梅田サテライト)については変更なし